



「記念フォーラム」リレースピーチ

「山とまちと木造建築」

例年の記念講演に代わるものとして、3人のスピーカーによるリレースピーチを企画しました。

『山』安田氏には、森林が本来持つ機能や循環が出来ていない現状の中で、山からまちへの木のながれをどうつくるかを、『まち』秦氏には、永年の木のある暮らしから紡ぎ出された生活文化や地域コミュニティへ果たす役割を、『木造建築』三澤氏には、不寛容でなかなか先の見通せない今の時代の中で、許容力やレジリエンスの大きな可能性を含む木造の未来の姿や発展について、それぞれお話しいただきます。

日時…平成29年12月8日(金) 12:45~14:30

会場…京都市勧業館「みやこめっせ」第3展示場

後半のパネルディスカッションでは3人のスピーカーの方々に加え、実務者として伝統建築を担ってこられた大工棟梁の木村氏とのクロストークでさらに議論を深めます。

京都府建築士会が3年間にわたって積み重ねてきた「山とまちと木造建築」への取り組みの成果、このリレースピーチの輪に、ぜひみなさんに入っていただきたいと思います。そして、ここで感じられたことをそれぞれの士会へお持ち帰りください。奮ってのご参加をお待ちしています!!

スピーカー&パネラー



安田哲也 やすだ・てつや

■ NPO法人サウンドウッズ代表理事、
(有)ウッズ取締役、一級建築士

1970年兵庫県丹波市生まれ。2004年に、森林管理、地域産木材販売および建築設計を行う(有)ウッズを丹波市に共同設立。2009年に人工林資源活用による森林保全を目的としたNPO法人サウンドウッズを立ち上げ、森とまちをつなぐ担い手「木材コーディネーター」育成や、公共施設の木造化の事業プロデュースなどを行う。全国の自治体や設計事務所に、事業企画と木材調達支援を行っている。



三澤文子 みさわ・ふみこ

■ MSD主宰、
(一社)ウッドマイルズフォーラム副会長、
(一社)住宅医協会理事、一級建築士

1956年静岡県生まれ。1985年に三澤康彦とともにMs建築設計事務所設立。林産地と都市を結ぶ木造住宅設計を行い、数多くの「木の家」を設計する。1995年の阪神淡路大震災における被害調査活動から木構造住宅研究所(現MSD)を設立し、1996年よりMOKスクールを開校。また、既存木造建築の調査診断・改修設計方法の開発と住宅医の育成に取り組んでいる。



秦めぐみ はた・めぐみ

■ 京都秦家主宰

1957年京都市生まれ。生家「秦家住宅」は18世紀半ばから近年まで薬種業を営んでいた商家で明治2年上棟した「表屋造り」の京町家。京都市有形文化財登録。1996年から一般公開し見学者を受け入れるほか、京都の生活文化を伝える「くらし体験会」「料理の会」「親子会」などを開催し、当住宅の維持保存に携わる。関連図書『秦家住宅 京町家の暮らし』(新建新聞社)、『京の町家 おりおりの季節ごはん』(扶桑社)、『京町家』(三村推古書院)。

パネラー



木村忠紀 きむら・ただのり

■ 大工棟梁、(株)木村工務店取締役会長、
京都府建築工業協同組合理事長、
一級建築士、京都府優秀技能者(現代の名工)

1946年京都市生まれ。堂宮と町家の仕事に従事。本業と並行して、木造土壁による準耐火構造の開発や化粧軒裏の延焼防止手法の開発、京町家実大振動台実験など、伝統木造に関する法的な環境整備のための活動に取り組む。

コーディネーター



高田光雄 たかだ・みつお

■ (一社)京都府建築士会副会長、
京都大学名誉教授、京都美術工芸大学教授、
博士(工学)、一級建築士

1951年京都市生まれ。地域の歴史や文化を活かした住まい・まちづくりの実践的研究、都市居住空間のデザイン、スケルトン・インフィル方式の住宅ストック再生への適応、集合住宅団地の再生などに取り組む。